

# 安全報告書

令和3年度（2021年度）



仙台臨海鉄道株式会社

# 安全報告書（2021年度）

（この安全報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです）

当社の鉄道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。当社は、昭和45年11月に仙台港湾地区と内陸部を結ぶ物流を担うため、日本国有鉄道、宮城県及び進出企業の共同出資により設立され、昭和46年10月に東北本線陸前山王駅を接続駅として営業を開始しました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により壊滅的な被害を受けましたが、平成24年9月に全線で運転再開を果たし、鉄道事業者として輸送の安全・安定輸送に社員一丸となり持続可能な会社としての経営基盤の強化に取り組んでいます。

この報告書は、鉄道事業法19条第4項に基づき、2021年度における安全基本方針や輸送の安全の確保に関する取組み状況をまとめたもので、お客様をはじめ地域の皆様に幅広くご理解いただるために公表するものです。

これからも皆様のお声を輸送の安全を活かしたいと考えておりますので、率直なご意見等をいただければ幸いです。

仙台臨海鉄道株式会社  
代表取締役社長 但野 新二

## 1. 安全基本方針

2021年度は、安全の定義として「安全は人命を守ること」を新たに加えて再構築した「安全の価値観」を社員に理解、浸透させ、貨物列車に起因する旅客・公衆の人命に関わる事故・事象の撲滅と社員の命を守るため、安全を最優先することを社員全員に周知徹底して取り組みました。

### 【綱領】

- 1, 安全の確保は、輸送の生命である
- 2, 規程の遵守は、安全の基礎である
- 3, 執務の厳正は、安全の要件である

### 【安全の価値観】

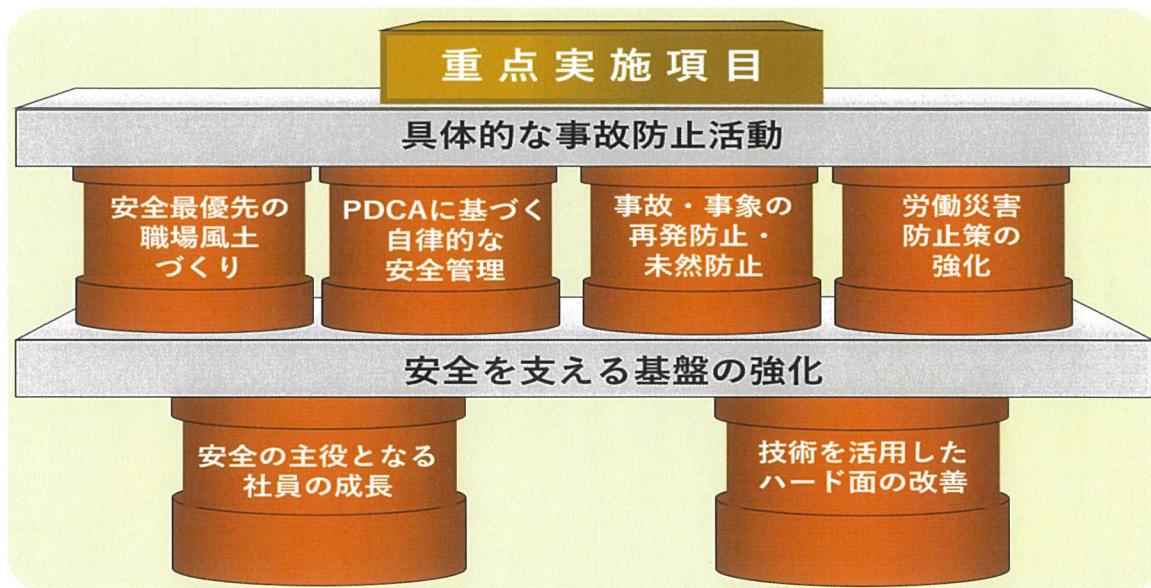
- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 安全の理念  | 「安全は、鉄道事業の存立基盤である」   |
| 2. 安全の定義  | 「安全は人命を守ること」   |
| 3. 安全目標   | ◎鉄道安全：貨物列車に起因する旅客・公衆の人命に関わる事故・事象を撲滅する<br>◎労働安全：死亡や重大な後遺症につながる労働災害を撲滅する |
| 4. 安全行動指針 | 私は、人命を第一に考え、安全確保の主役となって、常に正しい作業を実行します。                                 |

### 【安全活動スローガン】

「 安全をみんなで守る プロ意識 」  
社員から募集し、その中から投票により選定しました。  
本社・現場で掲出するとともに、朝礼・点呼時に唱和し安全意識の高揚を図りました。

## 2. 安全確保の取組み

全社員が「安全」に対する共通の認識を持ち、安全の目標達成に向け、安全実行計画を策定し、次の重点実施項目を定めて取り組みました。



## 3. 重点実施項目の実施内容

### (1) 安全最優先の職場風土づくり

- ①全社員が、安全の価値観である安全の理念や定義、目標、行動指針を共有し一体となって取組むため、毎月、経営トップによる点呼立会い、職場巡回を実施し、安全意識の向上に努めています。
- ②列車等の運転に関わる異常や危険を感じた時は、直ちに列車、車両を止めることが安全上、最も大切であるこの意識の浸透を図るとともに、万が一、事故が発生した場合及び異常を認めた場合に、躊躇なく、確実に関係列車、車両を止めるための列車防護訓練を行いました。



- ③基本動作、作業手順は、過去の事故の教訓、対策等により確立されていることを教育し、ルールを必ず守って正しい作業を実践する社員の育成に努めています。
- ④管理者・社員双方で安全に関する情報を共有し、確実な意思疎通を図っています。
- ⑤毎月、安全に関する情報を発信するため「セーフティーレター」を発行し、身近なところから社員の安全に対する意識の向上を図っています。

### (2) PDCAに基づく自律的な安全管理

- ①現場管理者が主体的に安全の取組み状況を確認し、必要な改善を行い、結果を評価して、PDCAサイクルに基づいた安全管理に取組んでいます。

②各現場で年度初に策定した安全実行計画の実施状況をトレースし、必要により計画の見直しや、安全の取組みについて本社からアドバイスを行っています。

#### (3) 事故・事象の再発防止、未然防止

①事故・事象の再発防止として過去の事故対策の風化防止を図るために、対策の意義や効果を理解させ、実行状況を確認して再発防止に取組んでいます。

②毎月開催する安全推進会議において、自社、他社問わず、発生した事故等について議論を行うとともに、現場社員へ水平展開を図り、事故の再発防止、未然防止を図っています。

#### (4) 労働災害の防止

①5S活動の推進、作業前の危険予知活動（KYT）の実施及び、ヒヤリ・ハット報告に対する迅速な回答と改善策を策定し、労働災害に繋がる芽を摘むことに取り組んでいます。

②自社で作成した「熱中症予防に関するハンドブック」を活用し、熱中症に関わる労働災害防止に取組んでいます。

#### (5) 安全を支える基盤の強化

①安全の基盤である社員の知識・技能の維持・向上を図るために、教育・訓練は、過去の実施状況のトレースを踏まえた年間計画を策定し実施しています。

教育・訓練を実施するにあたり、その主旨やねらいを説明して認識させるとともに 実施後は作業帶同やペーパーテスト等で理解度を確認しています。

②機関士の養成（動力車操縦者運転免許の取得）

将来にわたり、安全な列車運行業務を担う機関士を養成するため、自社内で学科講習、技能講習を行い、「動力車操縦者運転免許に関する省令」に基づく試験に臨み、1名が甲種内燃車動力車操縦者運転免許を取得しました。

③車両の維持管理

機関車の法定検査を確実に行うとともに、東日本旅客鉄道株式会社より購入したDE65-1号機の全般検査工事を実施し、安定した車両運用体制を構築しました。

全般検査工事施工中



全般検査後の試運転



④安全性の向上ため、設備の更新工事を以下の通り行いました。

- ・臨海本線 PCマクラギ交換工事
- ・仙台西港線 PCマクラギ交換工事
- ・仙台埠頭線 PCマクラギ及び40Nレール交換工事



#### 4. 事故等の発生状況

##### (1) 鉄道運転事故

2021 年度、鉄道運転事故は踏切障害が 1 件発生しましたが、死傷者はありませんでした。

##### (2) 輸送障害（列車の 1 時間以上の遅延や運休が生じたもの）

2021 年度、輸送障害は 3 件発生しましたが、係員の取扱い誤りに起因するものは無く、車両に起因するもの、地震及び津波注意報発令によるものがそれぞれ 1 件でした。

##### (3) インシデント（鉄道運転事故の発生のおそれがあると認められる事態）

インシデントの発生はありませんでした。

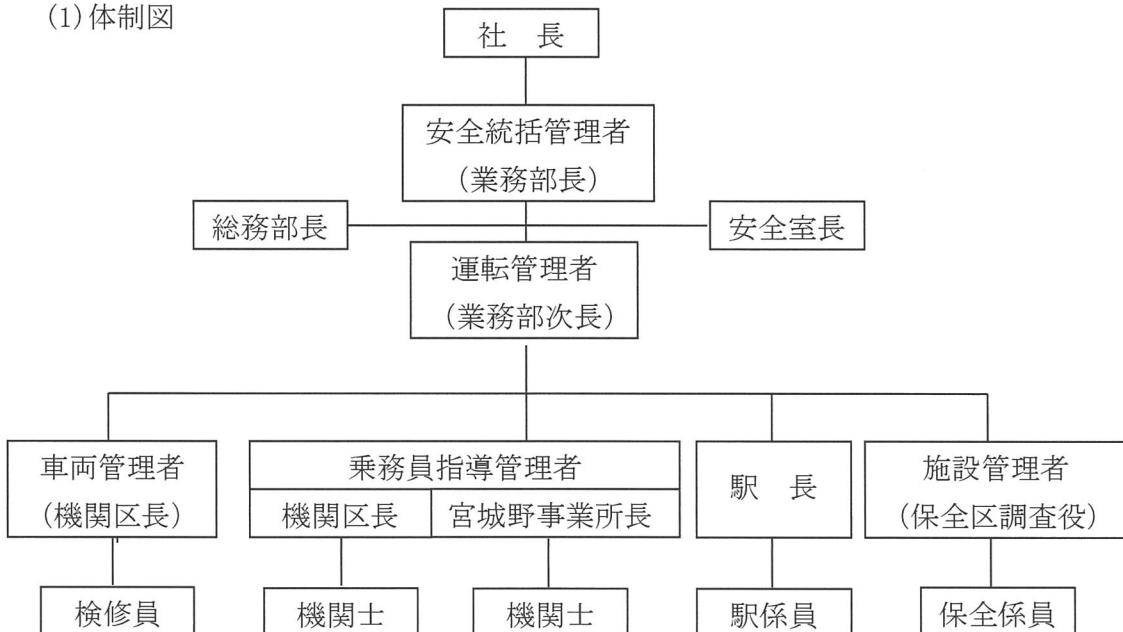
##### (4) 労働災害

労働災害の発生はありませんでした。

#### 5. 安全管理体制

当社における「安全管理規程」などの規則に基づき、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この中で、安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施設管理者、乗務員指導管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で、各現場での安全確保に努めています。

##### (1) 体制図



##### (2) 役割及び権限

	役職名	役割
1	社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
2	安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
3	運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
4	乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、機関士の資質の保持に関する事項を統括する。
5	車両管理者	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
6	施設管理者	運転管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
7	総務部長	安全に係る予算計画、要員計画等、社員・設備の状況その他を総合的に統括する。

## 6. 安全管理の方法

### (1) 安全推進会議

安全室長を議長に、役員・部長・現場長を構成員として毎月定例的に開催し、鉄道の安全に関する事項について審議し、運転事故の未然防止を主眼として取組んでいます。

### (2) 安全衛生推進者会議

主任安全衛生推進者（安全室長）を議長に、安全衛生管理担当者を構成員として年4回定期的に開催し、職場の安全対策及び保健衛生対策に取組んでいます。

### (3) 職場巡回

社長をトップに本社幹部が毎月各現場に出向き、点呼立会い・巡回を行なうことで、安全に関する点検及び社員とのコミュニケーションを図りました。

## 7. 地域との連携

(1) 県・市・企業・住民が一体となり港湾地区の清掃活動を行う「みやぎスマイルポート活動」を6月、11月に実施し近隣道路の清掃を行いました。

(3) 線路脇の除草を社員で実施しました。

(4) 全国交通安全運動の期間中に啓蒙活動として、踏切に注意喚起の「のぼり」を掲出しました。

(清掃活動)



(沿線除草)



## 8. 「お客様の声を かたちに！」

より安全で安定した輸送を行い、信頼される鉄道輸送体系構築のため、皆様のご意見などを寄せください。

仙台臨海鉄道株式会社

〒983-0001 仙台市宮城野区港四丁目 11番 2号

TEL 022-258-5211 FAX 022-258-7366

E-Mail [sendai@s-rin.com](mailto:sendai@s-rin.com)